

第83期中間報告書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

Speciality Chemical Partner

荻川化学工業株式会社





代表取締役社長 末村 長弘

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、第83期中間報告書（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期の世界経済は、米国経済の緩やかな回復などはありませんでしたが、欧州の金融危機の影響などによる中国経済の減速もみられ、景気の回復は弱いものとなりました。日本経済も、世界経済の減速や円高などの影響を受け、厳しい状況が続きました。また、欧州や中国などの対外経済環境を巡る不確実性が高まりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、徹底した経費削減を実施するとともに、主原料であるロジンをはじめとする原材料価格の変動に対応した製品価格の改定に努めてまいりました。また、超淡色ロジン、光硬化型樹脂および電子材料用配合製品などの高付加価値製品を中心に拡販を推進してまいりました。海外におきましては、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大を推進してまいりました。

しかしながら、基盤事業における主要製品の国内外での需要低迷に加え、設備投資にともなう減価償却費の増加もあり、収益性が悪化しました。

その結果、当中間期の売上高は333億11百万円（前年同期比8.2%減）、営業利益は7億71百万円（同36.6%減）、経常利益は6億90百万円（同44.4%減）、純利益は1億19百万円（同81.4%減）となりました。

なお、当中間期の配当金につきましては、1株につき11円50銭とさせていただきます。

荒川化学グループは、さらなる発展を目指して、平成20年4月よりスタートさせた第2次中期5ヵ年経営計画において、キャッチフレーズ「PINE DASH 1000」のもと、4つの基本方針を掲げ、さまざまな施策を推進してまいりました。

今後の経済見通しは、国内外の景気下振れリスクが高まるなど、予断を許さない状況であります。第2次中期5ヵ年経営計画で築いた事業基盤が創出する成果の最大化を目指した第3次中期経営計画の策定を進めており、グループ一丸となって、次なる飛躍へ挑戦してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

役員一同（平成24年10月1日現在）



左から：山中勝之監査役、厚朴裕一監査役、眞鍋好輝常務取締役、延廣徹取締役、松本圭三常務取締役、辰巳純一取締役、末村長弘代表取締役社長、荒川壽正取締役、谷奥勝三常務取締役、西川学取締役、宇根高司常務取締役、岩城本臣社外監査役、中西隆夫社外監査役

株主の皆様へ	1・2
What is ROSIN?	
松脂の精が騒い踊る	3・4
ロジンと狂言のめでたい関係	
事業の概況	5・6
連結財務諸表	7・8
Information	
ベルノックスの新製品	9
放熱塗料 ベルクール 太陽光発電への展開	
会社概要	10

松脂の精が謡い踊る ロジンと狂言のめでたい関係

シテ（主人公）とアド（脇役）の軽妙な掛け合いと、滑稽な踊りで観る者の笑いを誘う狂言。演じられる内容も、市井の人びとを主人公に権力者への風刺やたわいもない失敗談などを描き、現代の私たちでも共感できる作品が多いのが特徴です。そんな狂言に、ロジンの原料である松脂を主人公にすえた、「松脂」という演目があるのをご存じでしょうか。松脂をめぐる、めでたくも愉快的な狂言の世界を紹介します。



にぎやかなお囃子と踊りが特徴の正月の演目「松脂」

とある正月、主人のなながしが客人を呼んで毎年恒例の祝儀『松囃子』を披露することになったが、今回は特に“松脂”の名を呼んで囃し立てることになった。すると、そのにぎやかな掛け声に誘われたのか松脂の精が踊りながら現れ、松がなぜめでたいかを語りだす。そんなにめでたいならということで、一同は松脂の精に弓矢の弦に施す“くすね”がほしいと懇願。松脂の精は渋々ながらも承知し、舞いながら自らくすねを練って分け与えるのであった。

こうした展開で上演される「松脂」は、正月に披露される演目として知られています。松脂の精がくすねをこねるシーンでは、お囃子が打ち鳴らすにぎやかな太鼓に合わせて松脂の精が軽快に謡い踊り、新年の祝賀ムードを盛り上げます。



ボクは
松の妖精



「松やにや、松やにや」と囃し立てると、「松脂の精」がどこからともなく現れる—
口を尖らせた「うそふき」のお面をかぶって舞台上に登場する姿がユニーク
©写真提供：茂山狂言会



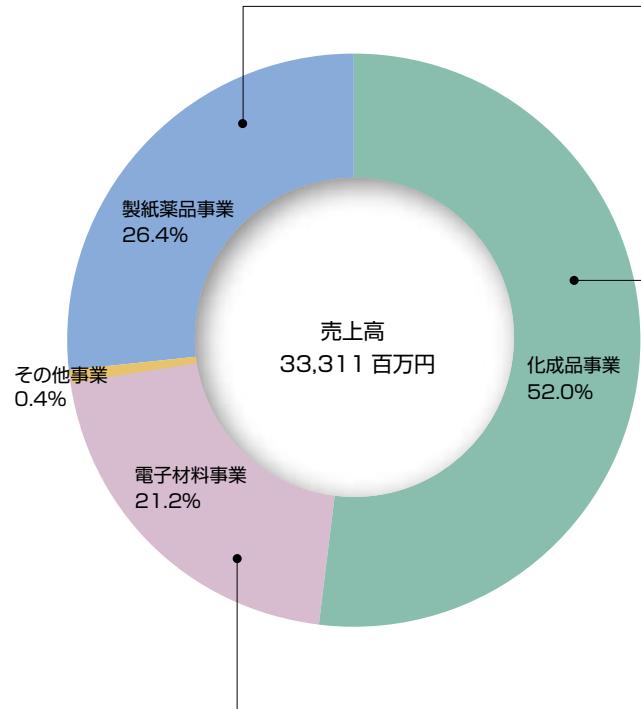
物語の鍵となる“くすね”が示す 武家にとっての松

このように「松脂」のなかでは、弓の弦に塗る“くすね”が物語の重要なキーワードとして登場します。この、松脂を用いて作る“くすね”は弓の弦の補強に使われます。弓は武家の象徴とされているので、縁起の良い松の成分が凝縮された“くすね”によって弓がより強靱になることは、すなわち、武家が繁栄すること。これは、大いにめでたいことであると表現されているわけです。

狂言「松脂」で語られるエピソードは、かつて日本で、松や松脂がいかに珍重されていたかを物語っているのです。



ロジン



製紙薬品事業



国内製紙業界は、需要の低迷や輸入紙の増加などにより印刷用紙の生産が引き続き低調に推移するとともに、堅調であった段ボール原紙など板紙の生産も、家電向け等の不振により減少傾向となりました。一方、中国製紙業界においては、紙・板紙の需要の伸びが鈍化しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内の販売は低調に推移しましたが、アジア地域での新規採用が進みました。利益面では、台湾、中国における拡販や新たな製品の投入により、全体では微増益となりました。

その結果、売上高は87億91百万円(前年同期比10.0%減)、セグメント利益は4億25百万円(同0.3%増)となりました。

化粧品事業



国内の印刷インキや粘着・接着剤業界は、出版・広告分野などで、低調に推移しました。このような環境のもと、国内事業におきましては、新たな機能を付加した新製品の採用もありましたが、印刷インキ用樹脂や粘着・接着剤用樹脂の販売が低調に推移しました。また、海外事業におきましても、総じて低調に推移しました。利益面では、国内外の販売減少に加え、超淡色ロジンの設備投資にともなう減価償却費の増加により、損失となりました。

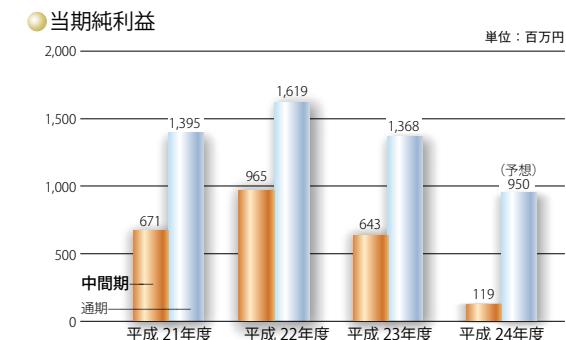
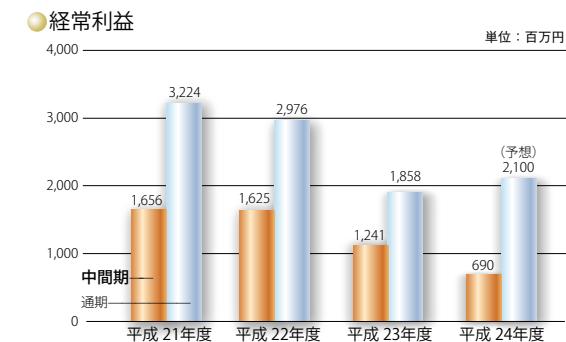
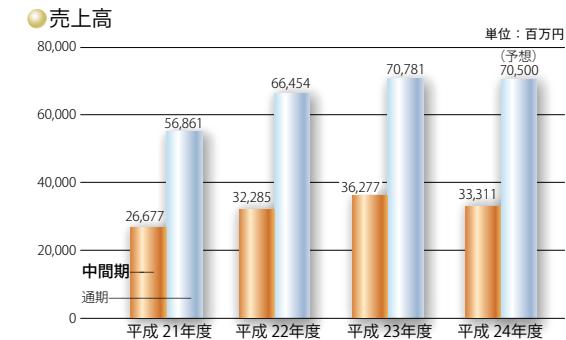
その結果、売上高は173億9百万円(前年同期比13.0%減)、セグメント損失は15百万円(前年同期はセグメント利益9億12百万円)となりました。

電子材料事業



電子工業業界は、スマートフォンの拡大があったものの、薄型テレビやノートパソコンなどの需要が低迷しました。このような環境のもと、当事業におきましては、昨年夏場以降の需要低迷から、光硬化型樹脂、電子材料用配合製品および機能性ファインケミカル製品の販売が回復傾向となりました。利益面では、前年度の損失から黒字転換し、増益となりました。

その結果、売上高は70億66百万円(前年同期比9.5%増)、セグメント利益は1億37百万円(前年同期はセグメント損失69百万円)となりました。



連結貸借対照表

科 目	前中間期 (23.9.30 現在)	当中間期 (24.9.30 現在)	前 期 (24.3.31 現在)
[資産の部]			
流 動 資 産	48,124	47,313	48,321
現金及び預金	6,121	5,724	5,678
受取手形及び売掛金	25,887	26,774	27,482
たな卸資産	14,472	13,232	13,327
その他	1,760	1,706	1,947
貸倒引当金	△ 116	△ 125	△ 115
固 定 資 産	28,759	27,120	28,786
有形固定資産	23,696	21,727	23,010
建物及び構築物	7,794	8,360	8,700
機械装置及び運搬具	7,996	8,225	9,151
土地	4,704	4,701	4,700
その他	3,200	439	459
無形固定資産	815	793	795
投資その他の資産	4,247	4,599	4,981
投資有価証券	3,699	3,752	4,074
その他	569	855	914
貸倒引当金	△ 21	△ 8	△ 7
資 産 合 計	76,884	74,433	77,108

(単位：百万円)

科 目	前中間期 (23.9.30 現在)	当中間期 (24.9.30 現在)	前 期 (24.3.31 現在)
[負債の部]			
流 動 負 債	27,605	26,633	28,822
支払手形及び買掛金	10,980	11,318	11,782
短期借入金	12,098	11,075	12,131
その他	4,526	4,239	4,908
固 定 負 債	11,060	9,874	10,375
社債	5,000	5,000	5,000
長期借入金	3,753	2,619	3,080
退職給付引当金	2,013	1,832	1,920
その他	294	422	374
負 債 合 計	38,666	36,507	39,197
[純資産の部]			
株 主 資 本	37,038	37,420	37,532
資本金	3,128	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350	3,350
利益剰余金	30,571	30,953	31,065
自己株式	△ 11	△ 11	△ 11
その他の包括利益累計額	△ 3	△ 644	△ 703
その他有価証券評価差額金	322	447	578
為替換算調整勘定	△ 326	△ 1,091	△ 1,281
少 数 株 主 持 分	1,183	1,149	1,081
純 資 産 合 計	38,218	37,926	37,910
負債純資産合計	76,884	74,433	77,108

連結損益計算書

科 目	前中間期 (23.4.1 から 23.9.30 まで)	当中間期 (24.4.1 から 24.9.30 まで)	前 期 (22.4.1 から 23.3.31 まで)
売上高	36,277	33,311	70,781
売上原価	29,501	27,087	58,203
売上総利益	6,775	6,224	12,577
販売費及び一般管理費	5,558	5,452	10,798
営業利益	1,216	771	1,779
営業外収益	232	247	436
営業外費用	207	329	357
経常利益	1,241	690	1,858
特別利益	117	0	322
特別損失	146	384	221
税金等調整前中間(当期)純利益	1,211	306	1,959
法人税、住民税及び事業税	286	201	439
法人税等調整額	180	△ 51	17
少数株主利益	101	36	133
中間(当期)純利益	643	119	1,368

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前中間期 (23.4.1 から 23.9.30 まで)	当中間期 (24.4.1 から 24.9.30 まで)	前 期 (23.4.1 から 24.3.31 まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	416	3,291	2,115
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,199	△ 1,807	△ 3,265
財務活動による キャッシュ・フロー	1,384	△ 1,467	464
現金及び現金同等物に 係る換算差額	76	28	△ 69
現金及び現金同等物の 増加額(△は減少額)	△ 322	45	△ 755
現金及び現金同等物の 期首残高	6,333	5,577	6,333
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	6,011	5,623	5,577

(単位：百万円)

ペルノックスの新製品 放熱塗料 ペルクール 太陽光発電への展開

当社のグループ会社であるペルノックスは、電子材料分野において必要とされる様々な機能性材料製品を開発、生産しています。

平成23年9月に完成した最新鋭の導電材料工場では、高精細タッチパネルを支える印刷性に優れた銀ペースト製品の生産を開始しています。また、この工場で生産される放熱塗料「ペルクール」は、塗るだけで温度を下げる事ができる特長からLED照明用途での採用が拡大しています。さらに、太陽光発電用途への活用も期待されており、欧米での導入が進む集光型太陽電池では、発電効率の向上が学会で発表*されるなど実用化が近づいています。

今後も、変化が著しい時代のニーズに対応し、新たな価値創造をもたらすオリジナリティー溢れる製品創りに邁進してまいります。



集光型太陽電池（宮崎大学設置）



最新鋭導電材料工場

*平成24年4月16日～18日開催、集光型太陽光発電の国際会議CPV8にて宮崎大学西岡准教授発表「集光型太陽光発電モジュールのアルミニウム筐体に放熱塗料を塗布した場合の効果」

会社概要（平成24年9月30日現在）

商号	荒川化学工業株式会社
創業	明治9年(1876年)
設立	昭和6年1月(1931年)
資本金	31億2,830万円
グループ従業員	1,354名
主な事業内容	次の製品の製造および販売 製紙用薬品、印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂、 粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤、 光硬化型樹脂、電子材料用配合製品、 精密部品洗浄剤および洗浄装置
ホームページアドレス	http://www.arakawachem.co.jp

役員（平成24年10月1日現在）

代表取締役社長	末村長弘
常務取締役	松本圭三
常務取締役	谷奥勝三
常務取締役	眞鍋好輝
常務取締役	宇根高司
取締役	延廣徹
取締役	辰巳純一
取締役	荒川壽正
取締役	西川学
監査役（常勤）	山中勝之
監査役（常勤）	厚朴裕一
監査役	岩城本臣
監査役	中西隆夫

（注）監査役岩城本臣および中西隆夫の両氏は、社外監査役であります。

株式の状況（平成24年9月30日現在）

発行可能株式総数	52,800,000株
発行済株式の総数	20,150,400株
株主数	3,668名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,366千株	6.78%
荒川化学従業員持株会	1,147	5.69
株式会社三菱東京UFJ銀行	940	4.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	688	3.42
荒川壽正	593	2.95
三菱化学株式会社	406	2.02
株式会社みずほ銀行	397	1.97
株式会社三井住友銀行	396	1.97
荒川彦二	380	1.89
王子製紙株式会社	345	1.72

（注）持株比率は、自己株式(11,766株)を控除して計算しております。

グループ会社の状況（平成24年9月30日現在）

会社名	資本金	議決権比率
Arakawa Europe GmbH	52千ユーロ	100%
広西梧州荒川化学工業有限公司	11,500千米ドル	100%
南通荒川化学工業有限公司	8,000千米ドル	100%
ペルノックス株式会社	60百万円	100%
高圧化学工業株式会社	60百万円	100%
ARAKAWA CHEMICAL (THAILAND) LTD.	119,000千タイバツ	100%
台湾荒川化学工業股份有限公司	149,226千新台幣元	60%
荒川化学合成(上海)有限公司	1,800千米ドル	100%
Arakawa Chemical (USA) Inc.	1,400千米ドル	100%
カクタマサービス株式会社	100百万円	100%
HONG KONG ARAKAWA CHEMICAL LTD.	4,000千米ドル	60%
廈門荒川化学工業有限公司	5,603千米ドル	間接60%
柏彌蘭科技股份有限公司	1,000千新台幣元	60%

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月中		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	剰余金の配当	期末	3月31日
		中間	9月30日
公告方法	日本経済新聞		
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先 (お問い合わせ先)	大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)		

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

荒川化学工業株式会社

大阪市中央区平野町1丁目3番7号 〒541-0046
電話 06-6209-8500(代表)



地球に優しいベジタブルインクを使用しております。